

英語科学習指導案

日 時 令和3年10月5日(火) 6校時
学 級 1学年
(男子3名 女子1名 計4名)
場 所 1年教室
授業者 教諭 三橋 有紀

1 単元名 PROGRAM6 The Way to School (Sunshine English Course1 開隆堂出版)

2 単元について

(1) 教材観

本時の言語材料は、学習指導要領の内容「エ 文、文構造及び文法事項(ウ) 文法事項 a 代名詞」のうちの「(a)人称や指示、疑問、数量を表すもの」と、「b 接続詞」に相当する。また、本単元では、中学校学習指導要領外国語編の目標「(4) 話すこと〔発表〕イ 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする」と、「(5) 書くこと イ 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする」を主に学習できると考える。

自分の好きな人物やキャラクターの紹介という身近な活動を通して、伝えたい内容を明確にした上でまとまりのある文章を書いたり、相手に伝わるように工夫しながら話したりする力をつけることをねらいとしている。

(2) 生徒観

1学年の生徒は、明るく元気に授業に取り組んでおり、挙手発言も多く見られる。また、ペアワークやグループワークにも積極的に取り組み、英語を用いた簡単なやりとりに対しても前向きな姿勢を見せている。一方で、知識の定着までに時間がかかり、その後の既習事項を用いた表現活動になかなか結びつかない傾向がある。また、人前で自分が伝えたいことを恥ずかしながら表現することが苦手である。そのため、自分の力で表現したいと思わせるような学習活動の展開と、表現に自信を持たせるための十分な手立てが必要であると考える。本時はそれらのことを踏まえ、生徒が達成感と今後につながる向上心を持てるような指導をしていきたい。

(3) 指導観

本単元は全8時間構成である。1～4時間目は文法の確認と本文の読み取りの時間にあたり、5～7時間目は発表の原稿作成および練習の時間にあたる。本時は最後の8時間目であり、まとめの活動として、生徒は好きな人物やキャラクターについて紹介をする。本単元では、三人称の代名詞や接続詞の because を文法事項として扱う。これらの文法を活用することで、紹介する人物やキャラクターについて、好きだという事実だけでなく、

好きな理由やその人物の具体的な情報も併せて伝えることができる。

本時では、生徒に既習事項を可能な限り活用させ、発表活動に取り組ませる。また、生徒同士が紹介された人物の魅力を共有できるような学習課題を設定した。ICT も随時活用させながら、生徒が最後まで意欲を持って発表ができるような指導を心掛けたい。

3 目標と評価規準

(1) 単元の目標

自分の好きな人物やキャラクターについて、情報や好きな理由を相手に知ってもらったり、相手の好きな人物やキャラクターについて、情報や好きな理由を知ったりするために、内容を整理した上で話したり聞いたりすることができる。また、自分が伝えたい情報や気持ちを、既習事項を用いて整理して書くことができる。

※本単元における「聞くこと」については、目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。

(2) 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (発表)	代名詞の用法や理由を述べる方法を正しく理解し、自分が伝えたい情報や気持ちを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身につけている。	自分が好きな人物やキャラクターについて相手に知ってもらうために、伝えたいことを整理して話している。	自分が好きな人物やキャラクターについて相手に知ってもらうために、伝えたいことを整理して話そうとしている。
書くこと	代名詞の用法や理由を述べる方法を正しく理解し、自分が伝えたい情報や気持ちを、簡単な語句や文を用いて書く技能を身につけている。	自分が好きな人物やキャラクターについて相手に知ってもらうために、伝えたいことを整理して書いている。	自分が好きな人物やキャラクターについて相手に知ってもらうために、伝えたいことを整理して書こうとしている。

4 単元の指導・評価計画

時	主な学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	三人称の代名詞の使い方を理解する。(教科書 p.70~71 Scene 1)	記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確認に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。		
2	理由のたずね方と述べ方を理解する。(教科書 p.70~71 Scene 2)			
3	エミリーと健の対話を読み取る。(教科書 p.72 Think 1)			
4	エミリーと健の対話を読み取る。(教科書 p.73 Think 2)	記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確認に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。		
5・6	好きな人物やキャラクターについて紹介する原稿を作成する。(教科書 p.74) 【書くこと】	○	○	○
7	原稿をもとに、発表の練習をする。	記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確認に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。		
8 (本時)	自分が好きな人物やキャラクターを相手に紹介する。【話すこと(発表)】	○	○	○

※後日、ペーパーテストを実施。

5 本時について

(1) 目標：自分が好きな人物やキャラクターの良さを、工夫して相手に紹介できる。

(2) 指導の構想（校内研究との関わり）

ア。「自分が好きな人物やキャラクターの良さを相手に伝える」という身近な課題を通して、どのような工夫をして発表すればよいか考えさせる。

イ. Power Point を活用させ、視覚的にわかりやすい発表になるよう工夫させる。

ウ. 発表の中でも、自然に英語のやり取りをさせる。(Hello, everyone.に対して Hello. と返させる、Do you know this man?の質問に対して Yes / No で答えさせる、など)

エ. 話し合いを通して、発表者にどんな質問をしてみたいか考えさせる。

オ. 本時の自分の学びを十分に振り返り、次の学習につなげさせる。

(3) 展開

段階	学習活動・学習内容 生徒の反応◇	活動の支援◎ 教材・教具○	研究に関わる手立て■ 評価□
導入 (5分)	<p>1. 本時の学習課題の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分が好きな人物やキャラクターの良さを相手に伝えるために、頑張るポイントは？</p> </div> <p>2. 発表のポイントの確認 話し手、聞き手両方</p>	◎よりレベルの高い発表にするための工夫について考えさせる。	■「自分が好きな人物やキャラクターの良さを相手に伝える」という身近な課題を通して、どのような工夫をして発表すればよいか考えさせる。
展開 (39分)	<p>3. 練習 自分が特に頑張るポイントを言った後に、発表の練習を行う。(3分)</p> <p>4. 発表 ①発表の前に再度、自分が特に頑張るポイントを宣言する。 ②発表は一人につき3分程度。 例) Hello, everyone. Today, I'm going to introduce my favorite person. Look at the screen. Do you know this woman? This is Ai-myon. She is a singer. She makes songs by herself. Please listen to her song. I like her because her voice is very beautiful. I want to go to her concert someday. Thank you. ③その後、聞き手は話し合っってどんな質問をしたいか考える。(聞き手が話し合いをしている間、話し手は周りの先生方から質問をいただく。) ④話し合いが終了したら、聞き手の代表者は発表者に質問をする。 ⑤以後、①～④を繰り返す。</p>	○発表原稿 ○TV、PC ◎英語でどのように質問したらよいかわからない困り感をもとに、ヒントを出す。 ◎周りの先生方にも質問していただく。	■PowerPoint を活用し、視覚的にもわかりやすいように工夫する。 知 思 態 ■発表の中でも、自然に英語のやり取りをする。 ■話し合いを通して、発表者にどんな質問をしてみたいか考える。
終末 (6分)	<p>5. 振り返りと次回の見通し ・記入後、数人に発表してもらおう。 ◇○○の良さが伝わるように、ジェスチャーを用いながら工夫して紹介できた。 ◇すらすら発表するのが大変だったけど、最後まで諦めないで発表できた。</p>	○リフレクションシート	■本時の自分の学びを十分に振り返り、次の学習につなげる。

